

平成29年度第3回地域ネットワーク部会議事要旨

日時：平成29年11月29日（水） 18:20～19:50
場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター
構成員：11名
出席者：8名
宮里 浩（那覇市立病院）、川満 博昭（スカイプ・県立宮古病院）、
中上 弘茂（スカイプ・八重山病院）、金城 達也（琉大病院）、増田 昌人（琉大病院）、
新垣 千春（那覇市立病院）、本仲 寛美（中部病院）、當山 美奈子（琉大病院）
欠席者：3名
照屋 淳（北部地区医師会病院）、伊江 将史（中部病院）、真鶴 善栄（がん患者会連合会）
陪席者：2名 南 大介（よりよい地域医療を応援する会）、渡嘉敷 留美（琉大病院）

[報告事項]

1. 平成29年度第1回地域ネットワーク部会議事要旨について

宮里部会長より、資料1に基づき、平成29年度第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

2. がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

宮里部会長より、資料2に基づき、平成29年10月末日時点のがん地域連携クリティカルパスの適用状況について、3拠点病院の合計は50例で、施設別では、那覇市立15例、琉大病院35例、中部病院が0例の順になっていることが報告された。

増田委員より、地域がん診療病院である要件として、沖縄県立八重山病院、沖縄県立宮古病院もがん地域連携クリティカルパスを運用しておく必要があると説明があった。

宮里部会長より、各病院の事務担当とパスの実績報告について確認の依頼があった。

[協議事項]

1. 沖縄県内のがん診療連携拠点病院以外の市中病院における地域連携に関する講演会等の企画開催について

宮里部会長より、当初予定していたがんの地域連携クリティカルパスについて焦点をあてずに、中部地区の連携の状況を討論できればと考えており、當山先生の講演の後に、連携室の方に困っている事など状況を話してもらう形で講演会を進める方向の提案があった。中部地区の連携について、会場内の質問でつなげていきたいと話があった。

会場を提供して頂いている中頭病院長へ講演会へのご出席依頼をした方がいいとの提案があった。

事務局より、中頭病院の院長、連携室の方へ出席依頼をすることとなった。

・講演会当日は、18:30に会場の中頭病院の2階中頭ホールで集合と確認された。

①当日の役割分担

・資料3に基づき、役割分担が確認された。欠席の伊江委員に事務局より、挨拶を依頼することとなった。

座長：宮里浩（那覇市立病院）、司会：當山美奈子（琉大附属病院）

開会の挨拶：伊江将史（沖縄県立中部病院）、閉会の挨拶：金城達也（琉大附属病院）

②ポスターデザインについて

・連携室の説明文を大きくする等、委員からの意見に基づき、修正することが確認された。

③アンケートの内容について

・「県内で統一された地域連携パスが必要と思いますか」の質問が提案され、アンケートに追加された。

④送付先について

・琉大附属病院の連携先と県立中部病院の連携先、中部地区医師会へ講演会案内を送付することとなった。

⑤懇親会について

・中頭病院の先生や連携室の方と中部の状況等を意見交換することとなった。事務局より、幹事を伊江委員へ依頼することとなった。

⑥その他

・増田委員より、演者謝金の提供、部会委員は通常の部会同様ボランティアの旨の説明があり、了承された。役割分担がある委員へは、部会長名およびがんセンター長名の連盟で、用務依頼を送付することとなった。

2. 九州がんセンター長の講演会・研修会について（(案) 沖縄県外科会との共同開催について）

NPO よりよい地域医療を応援する会のより、別紙資料①に基づき、講演会・研修会の企画について提案があり、今後の計画の参考にご意見を伺いたいと話があった。委員より、以下の意見があった。

- ・医師に呼びかけてもパス普及は難しい状況が当部会の活動でも表れているため、県内の地域連携室の集まりへ働きかけるなど、違う方向からアプローチした方がいいのではないかと。
- ・地域連携の交流が、南部地区、中部地区、北部地区とある。
- ・がん地域連携クリティカルパスの普及を目的とするのではなく、地域との連携があることが重要であり、県内の現状の問題をどう解決するかを検討していくといいのではないかと。
- ・藤先生が、パスの講演をする場合、がんの診療連携について抱えている課題へのヒントを、藤先生の講演内容から得て実現する手段として、施設や医師へ働きかけるといいのではないかと。

NPO よりよい地域医療を応援する会より、別紙資料②に基づき、九州でのパスの状況報告があった。

3. グループ指定について

増田委員より、資料4に基づいて、グループ指定の施設間で対応すべきことの情報提供がされた。

4. 専門部会の再編について

・増田委員より、国の分野分けと県の分野分けを参考に、部会を再編する旨の説明があった。部会再編案を後日メールするので、ご意見を頂きたいと協力依頼がされた。

・宮里部会長より、部会として、大腸がんや乳がんなどのがんの成績や診療内容を向上するための連携を、アシストする活動の提案があった。例えば、大腸がんプロジェクトのように色々な組織で構成される場合、連携が必要となるため、当部会がそのコーディネート役として活動するといいいのではないかと。また、組織の連携により、ツールとしてパスの運用が動く可能性もあると意見があった。

5. 次回の開催について

次回の開催日は、2月7日（水）、2月21日（水）、2月28日（水）が候補とされ、日程確定に関しては、後日メールにて調整することとなった。